



おこづかいから学ぶ
お金の話

クイズ



日本の ^{こうか} お金(お札・硬貨)は 何種類ある？

見たことがあるお金を
思い出してみよう！



答え

日本のお金は 10種類！

紙幣(しへい)⇒かみでできたお金(お札)



10000円(いちまんえん) 5000円(ごせんえん) 2000円(にせんえん) 1000円(せんえん)

貨幣(かへい)・硬貨(こうか)⇒きんぞくでできたお金



500円



100円



50円



10円



5円

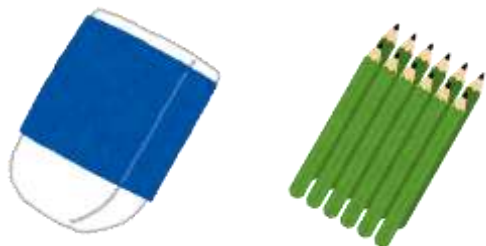


1円



- お金を使うときは、買いたいものを、『**必要なもの**』と『**ほしいもの**』にわけて考えましょう。
- 『**必要なもの**』を先に**買う**ようにしましょう。

必要なもの



- ・勉強するための
えんぴつや消しゴム など

ほしいもの



- ・おかしやおもちゃ、ゲーム など

必要なものを買った後で、ほしいものの中でも
特にほしいものを買うようにしましょう。

○ 自分のお金の記録として、おこづかい帳をつけてみましょう。

日付	どうしてもらった・何に使った	入ったお金	出たお金	残ったお金
1日	おこづかい	1000円		1000円
3日	おかしを買う		200円	800円
4日	えんぴつと消しゴムを買う		300円	500円
6日	お手伝いをする	500円		1000円
10日	ジュースを買う		200円	800円
11日	おかしを買う		200円	600円
15日	ゲームセンターで遊ぶ		300円	300円
20日	おかしを買う		200円	100円
	合計	1500円	1400円	100円

お金をもらった時や、お金を使った時に、おこづかい帳に
記録をしていきましょう。

おこづかいゲーム





- 4種類(ニーズ・ウォンツ・ラッキー・どっきり)のゲームカードを引くことで発生する様々なイベントを、おこづかい帳に記録していくゲームです。

◎ **ニーズ**

- 必要なもの。お金があれば必ず買う
- おこづかい帳の「どうしてももらった・何に使った」の欄(らん)にカードの内容(ないよう)を書き、「出たお金」に金額(きんがく)を記入

○ **ウォンツ**

- ほしいもの。買うかどうかを、ペアや班(はん)ではなく自分で決める
- おこづかい帳の「どうしてももらった・何に使った」の欄(らん)にカードの内容(ないよう)を書き、買う場合は「出たお金」に金額(きんがく)を記入
- 買わない場合は、「出たお金」に「0円」と記入

☆ **ラッキー**

- お金がもらえるイベント
- おこづかい帳の「どうしてももらった・何に使った」の欄(らん)にカードの内容(ないよう)を書き、もらったお金を「入ったお金」に記入

× **どっきり**

- お金が減(へ)ってしまうイベント
- おこづかい帳の「どうしてももらった・何に使った」の欄(らん)にカードの内容(ないよう)を書き、減(へ)ったお金を「出たお金」に記入

先生の指示^{しじ}で、ペア^{はん}や班を作りましょう。

① おこづかい^{じょうたい}を2000円持っている状態で、ゲームを
スタートします。

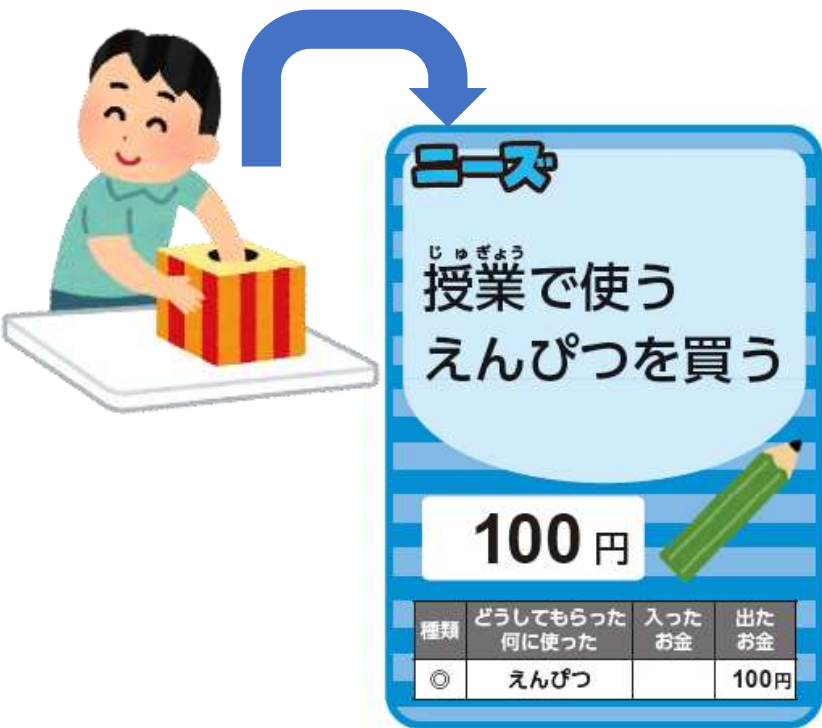
日付	種類	どうしてもらった・ 何に使った	入った お金	出た お金	残った お金	メモ
		おこづかい			2000	





- ② ペアまたは班の代表1人がゲームカードを1枚引き、大きな声で図のようにカードの「種類(ニーズなど)」「内容」「金額」と「おこづかい帳の書き方」を読み上げます。

※ 読み上げたカードは、元にはもどしません。



ニーズが出ました。
授業で使うえんぴつを
100円で買います。
おこづかい帳の書き方は、
「◎ えんぴつ
出たお金に100円です」!





- ③ クラス全員が、読み上げられたゲームカードの内容を、
それぞれ自分用のおこづかい帳に記入します。
全員の記入が終わったら、次のペアまたは班の代表がゲーム
カードを1枚引き、②～③を繰り返します。

日付	種類	どうしてもらった・ 何に使った	入った お金	出た お金	残った お金	メモ
		おこづかい			2000	
4/1	◎	えんぴつ		100	1900	

※「残ったお金」が足りない場合は、お金が入るまでニーズ・ウォンツが出て、買い物はできない。どっきりが出て、お金は減らない(出たカードの「どうしてもらった・何に使った」を記入し、「出たお金」に「/」を引く)。



- ④ 全てのペアまたは班が「ゲームカード」を引いたら、自分が買ったものや残ったお金、にこにこポイントをもとに自分の満足度を確認し、おこづかいの使い方をふり返りましょう。

おこづかいの使い方によって、「にこにこポイント」がもらえるよ。

どうしたらもらえるかは、お買い物が終わってからのおたのしみ。





- ① おこづかいを2000円持っている^{じょうたい}状態で、ゲームをスタート。
 - ② ペアまたは班^{はん}の代表1人がゲームカードを1枚^{まい}引き、大きな声で内容を読み上げる。
 - ③ クラス全員が、読み上げられたゲームカードの^{ないよう}内容を、それぞれ自分用のおこづかい帳に記入する。全員の記入が終わったら、次のペアまたは班の代表がゲームカードを1枚^く引き、②～③を繰り返す。
- ※「残ったお金」が足りない場合は、お金が入るまで、ニーズ・ウォンツが出てても買い物はできない。どっきりが出てても、お金は^へ減らない(出たカードの「どうしてももらった・何に使った」を記入し、「出たお金」に「/」を引く)。
- ④ 全てのペアまたは班^{はん}がゲームカードをひいたら、ゲームは終わり。
自分が買ったものや残ったお金、にこにこポイントをもとに自分の満足度^{かくにん}を確認し、おこづかいの使い方をふり返る。



◎ ニーズ

- 必要なもの。お金があれば必ず買う
- おこづかい帳の「どうしてももらった・何に使った」の欄にカードの内容を
書き、「出たお金」に金額を記入

○ ウォンツ


- ほしいもの。買うかどうかを、ペアや班ではなく自分で決める
- おこづかい帳の「どうしてももらった・何に使った」の欄にカードの内容を
書き、買う場合は「出たお金」に金額を記入
- 買わない場合は、「出たお金」に「0円」と記入

☆ ラッキー

- お金がもらえるイベント
- おこづかい帳の「どうしてももらった・何に使った」の欄にカードの内容を
書き、もらったお金を「入ったお金」に記入

× どっきり

- お金が減ってしまうイベント
- おこづかい帳の「どうしてももらった・何に使った」の欄にカードの内容を
書き、減ったお金を「出たお金」に記入



おこづかいゲーム
ふり返し

- おこづかい帳の^{ないよう}内容をもとに、『**ここにこポイント**』を計算してみましょう。
- 商品を買わなかったり、残ったお金が足りなくて買えなかった場合は、『**種類**』の欄の記号に取り消し線を引きます。

「出たお金」が0円だったり、
しゃせん
 斜線(／)が引いてあるところは
 ◎や○に取り消し線を引こう。



日付	種類	どうしてもらった・ 何に使った	入った お金	出た お金	残った お金	メモ
4/5	○	アイス		200	800	1p
4/6	⊖	カプセルトイ		0	800	やらない
4/7	×	植木ばちわれた		500	300	
4/8	◎	お茶		200	100	2p
4/9	⊖	シール		／	100	お金が 足りない



- 取り消し線の引いていない、「◎」と「○」の数を数えます。
- 『にこにこポイント計算シート』に、数えた結果を書きましょう。

カードの種類	もらえる
ニース ◎	こ 1個につき、2
ウォンツ ○	1個につき、1

計算しよう(基本ポイント)				
ニース ◎	個	$\times 2 =$	ア	
ウォンツ ○	個	$\times 1 =$	イ	
合計		ア + イ =	ウ	



計算しよう(基本ポイント)の記入例				
ニーズ ◎	3 個	$\times 2 =$	ア 6	にこにこポイント
ウォンツ ○	5 個	$\times 1 =$	イ 5	にこにこポイント
合計		ア + イ =	ウ 11	にこにこポイント

例えば、ニーズが3個、ウォンツが5個の場合は
 $6 + 5 = 11$ にこにこポイントになります。

○ 次のカードが出た場合は、おこづかいの使い方によって
にこにこポイントがたまる場合があります。

カードの種類	内容
ニーズ ◎	<ul style="list-style-type: none">算数のノートを1冊^{さつ}買う。 エコマークなし:100円 エコマークつき:200円➤ エコマークつきのノートを買った人は+2 にこにこポイント
ニーズ ◎	<ul style="list-style-type: none">ポケットティッシュを買う。1個:100円 3個セット:200円➤ 3個セットを買った人は+2 にこにこポイント



かんきょう

環境のことを考えて買い物をする、

必要なものはまとめて買うなど、様々な工夫ができるね。



カードの種類	内容
ウォンツ ○	<ul style="list-style-type: none"> おばあちゃんのお見舞いにお菓子を買う。おばあちゃんの大好物はお団子。おせんべい:200円 お団子:300円 ➤ お団子を買った人は+2 にこにこポイント
ウォンツ ○	<ul style="list-style-type: none"> さいがい ちいき ぼきん ぼきん 災害にあった地域への募金活動をしていた。募金する？ ➤ 募金をした人は+2 にこにこポイント
ウォンツ ○	<ul style="list-style-type: none"> チョコを買う。好きなキャラクターのチョコ:200円 フェアトレードラベルの付いているチョコ:300円 ➤ フェアトレードラベルのチョコを買った人は+2 にこにこポイント



自分のまわりの人や、^{こま}困っている人のことを考えた
おこづかいの使い方もあるね。



- 「お祭り」のカードが出た場合は、商品を複数^{ふくすう}個買うことができるため、追加でポイントがもらえる場合があります。

カードの種類	内容
<p>ウォンツ ○</p>	<ul style="list-style-type: none"> お祭りで遊ぶ。(いくつ選んでもよい) <p>わたあめ:100円 わなげ:200円 たこやき:300円</p> <p>^{ふくすう}商品^{ふくすう}を複数買った場合に、2個目から +1 にこにこポイント</p> <p>例:わたあめとたこやき(合計2つ)</p> <p>→ +1 にこにこポイント</p> <p>例:わなげとたこやき2個(合計3つ)</p> <p>→ +2 にこにこポイント</p>





- 特別なカードが出た場合は、ポイント計算シートの裏面^{うらめん}も使います。

計算しよう(特别ポイント)					
エコマーク	ティッシュ3個	お団子	募金	フェアトレード	お祭り
=㊦合計				にこにこポイント	

計算しよう(特别ポイント)の記入例					
エコマーク	ティッシュ 3個	お団子	募金	フェア トレード	お祭り
2	0	2	2	0	1
=㊦合計				にこにこポイント	

- 特別なカードのポイントの合計 **㊦**と、
 「ポイント計算シート」表面で計算した、^{つうじょう}通常ポイントの合計
㊵を足して、最終結果を出します。

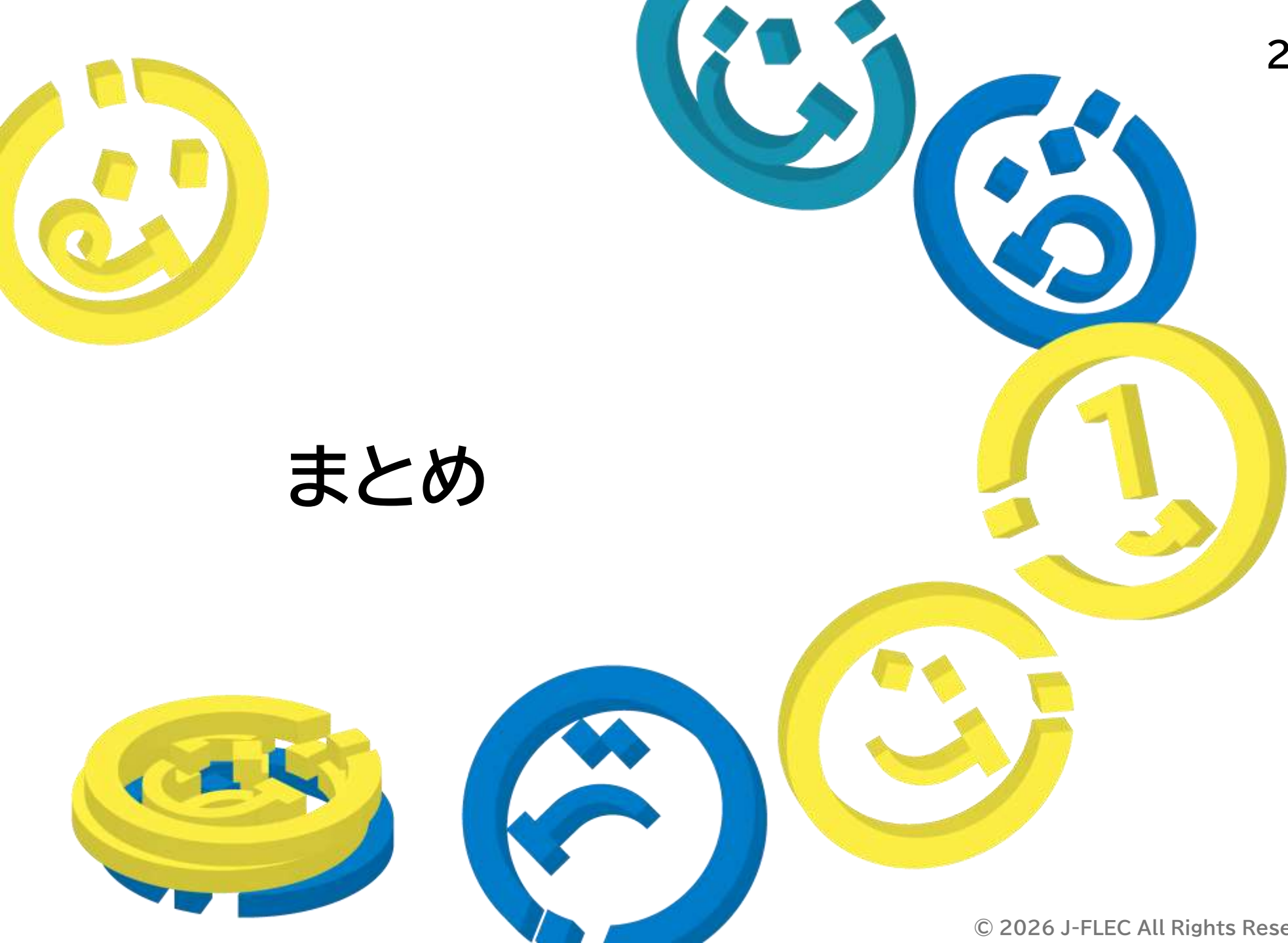
最終計算				
㊵	+	㊦	=	

最終計算の記入例				
㊵	11 +	㊦	7 = 18	

- 自分のおこづかいの使い方について、満足度を点数にしてみましよう。ゲームを通して気づいたことを書きましよう。

残ったお金	円	自分の満足度
にこにこポイント の合計	ポイント	/ 100 点
ゲームを通して気づいたこと・学んだこと		

まとめ



- おこづかい帳をつけておくと、自分が何にお金を使ったかがすぐに分かるようになります。
- 後から見てみると、『もしかしたらいらなかったかも』『別のものに使えばよかった』というふり返りができるようになります。

日付	どうしてもらった・ 何に使った	入ったお金	出たお金	残ったお金
1日	おこづかい	1000円		1000円
3日	おかしを買う		200円	800円
4日	えんぴつと消しゴムを買う		300円	500円
6日	お手伝いをする	500円		1000円
10日	ジュースを買う		200円	800円
11日	おかしを買う		200円	600円
15日	ゲームセンターで遊ぶ		300円	300円
20日	おかしを買う		200円	100円
	合計	1500円	1400円	100円

ちょっとおかしを
買いすぎたかも
しれない...



○『お金をためれば、買えなかったものが買えることも』あります。





お金の貸し借りのトラブル

お金を貸すと、返してもらえなくなるトラブルがとても多いです。どれだけお願いされても、絶対に断りましょう。

お金のトラブルで、友達との関係が悪くなってしまう。



絶対に人にお金を貸してはいけません。

オンラインゲームのトラブル

オンラインゲームでアイテムを手に入れる時は、「基本無料」などと書かれていても、多くの場合は、お金がかかります。

おうちの人のお金やクレジットカードは、

絶対に

勝手に使ってはいけません。





^{じこ}
事故でケガを
するかもしれない



病気で入院すること
になるかもしれない



^{さいがい}
自然災害で家が
こわれてしまう
かもしれない

^{じこ}事故や病気、^{さいがい}自然災害が起こると、生活に大きな
えいきょうがあります。健康や安全に気をつけて生活しましょう。



自転車を運転していて事故^{じこ}
を起こしてしまった

人の物をこわしてしまった

小学生の起こした自転車事故^{じこ}で、被害者^{ひがいしゃ}へ9500万円
支^しはらわなくてはいけなかったケースもあります。

人の物をこわしてしまった時は、沢山の^{たくさん}お金を請求^{せいきゅう}されることがあります。

すぐにおうちの人などに相談しましょう。



○ 今日勉強したことをまとめてみよう

- お金を使うときは、買いたいものを、『必要なもの』と『ほしいもの』にわけて考え、計画的に使いましょう。
- おこづかい帳をつけておくと、自分が何にお金を使ったかがすぐにわかり、あとでふり返りができるようになります。
- 「お金のトラブル(お金の貸し借^かり、オンラインゲームなど)」に気をつけましょう。
- 事故や病^{じこ}気、けがに気をつけて生活をしましょう。

